

公立大学法人 大分県立看護科学大学
平成25事業年度の業務実績に関する
全体評価結果

平成26年8月

大分県地方独立行政法人評価委員会

全体評価

評価結果と判断理由

評価結果

全体として年度計画を順調に実施している。

判断理由

- ①大項目のうち「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」、「Ⅱ業務運営の改善及び効率化に関する目標」の項目についてはS評価（特筆すべき進捗状況にある）、「Ⅲ財務内容の改善に関する目標」、「Ⅳ自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」、「Ⅴその他業務運営に関する目標」のいずれの項目もA評価（計画どおり進んでいる）であること。
- ②「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」の項目については、看護師及び助産師の国家試験合格率100%を達成したこと（看護師は平成21年度から、助産師は平成22年度から継続して100%）。また、県内就職率が前年度42.9%から52.1%へと上昇したこと。
- ③「Ⅱ業務運営の改善及び効率化に関する目標」の項目については、理事長のリーダーシップによる組織改編を迅速に行い、運営体制を強化した結果、文部科学省の地（知）の拠点整備事業に県内の大学で唯一採択されたほか、ホームカミングデイ実施の成果が出ていること。

<委員会からのコメント>

- ・運営体制の充実、状況に応じた組織改編等が非常に迅速に、組織的に行われている。その結果、ホームカミングデイのような成果が出ている。

【参考：大項目評価の結果】

I 教育研究等の 質の向上	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
II 業務運営の改 善及び効率化	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
III 財務内容の改 善	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
IV 自己点検・評 価及び情報提供	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
V その他業務運 営	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり

公立大学法人 大分県立看護科学大学
平成25事業年度の業務実績に関する
項目別評価結果

(大項目評価)

平成26年8月

大分県地方独立行政法人評価委員会

大項目評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	---------------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、32項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
- ②成績不振学生への学習指導体制を整え、看護師及び助産師の国家試験合格率100%を達成したこと（看護師は平成21年度から、助産師は平成22年度から継続して100%）。また、大分県看護協会と連携して、県内病院へのインターンシップを推進した結果、県内就職率が前年度42.9%から52.1%へ上昇したこと。
- ③文部科学省の地（知）の拠点整備事業(COC)に採択され、予防的家庭訪問実習を全学年を通して取り組むこと。
- ④小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 教育の内容及び到達目標
 - ・平成26年度で4年目となる学部4年間の看護師教育について、平成27年度から開始する新カリキュラムを構築した。
 - ・4年間の看護師教育と並行し、養護教諭1種の教育の平成27年度からの開始を決定した。
 - ・文部科学省の地（知）の拠点整備事業(COC)に「看護学生による予防的家庭訪問実習を通じた地域のまちづくり事業」が採択され、孤立しがちな地域の高齢者宅を4年間かけて継続的に家庭訪問し、高齢者の機能低下の予防を目指す。
 - ・全国のNP養成課程修了生の能力評価、特定行為の実施状況の評価と共に、老健施設での活動による救急搬送の患者の半減を英文論文化するなど、NP修了生の社会での役割と効果をまとめた。
 - ・大学院における保健師教育では、広域看護活動研究実習など独自のカリキュラムを修了した保健師2人が県内の2市に初めて就職した。
- 研究
 - ・健康増進プロジェクトとして、大分県の介護予防運動「めじろん元気アップ体操」を研究開発し、その効果を検証するとともに、介護予防の研修会等で講義および実技指導を行った。
- 学生への支援
 - ・成績不振学生への学習指導体制を整え、看護師、助産師の国家試験合格率100%を達成した。
 - ・大分県看護協会と連携して、県内病院へのインターンシップを推進した結果、県内就職率が前年度42.9%から52.1%へ上昇した。
- その他勘案事項
 - ・全体として「上回って実施している」と評価した項目は少ないが、看護師及び助産師の国家試験合格率100%を達成したことや県内就職率が前年度42.9%から52.1%へ上昇したこと、また、文部科学省の地（知）の拠点整備事業(COC)に採択される

など、特に優れた進行状況にある事項がある。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
教育	17(7)			10(4)	7(3)
研究	5(3)			4(2)	1(1)
社会貢献	10(3)			7(2)	3(1)
合計	32(13)			21(8)	11(5)
ウエイト考慮 後の合計	45			29	16

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、32項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価(計画どおり進んでいる)となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

• これまで他の大学に先駆けて学部4年間での看護師教育を実施してきたが、新たに養護教諭1種の課程を導入することについては、今後この課程がどのようなかたちで成果を上げていくか注視したい。

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、17項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
- ②理事長のリーダーシップによる組織改編が迅速に行われ、看護研究交流センターに常勤准教授1名を専任配置するなどの運営体制を強化した結果、文部科学省の地（知）の拠点整備事業採択及びホームカミングデイ実施の成果が出ていること。
- ③小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

○開かれた大学運営

- ・理事長のリーダーシップのもと、委員会間の連携を促進する等、効果的な大学運営を進めるとともに、看護研究交流センターについては、業務を細分化し、目的、ビジョンを明確にするなど、運営体制を強化した。また、定期的に関係する学内役員会を、課題解決や情報交換を機動的に行うための場として確立した。
- ・現役学生や卒業生の意見を大学運営に反映させるため、看護研究交流センターを中心に、ホームカミングデイと題した交流会を開催した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
運営体制	9(4)			2	7(4)
人事の適正化	8(1)			7(1)	1
合 計	17(5)			9(1)	8(4)
ウエイト考慮 後の合計	22			10	12

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、17項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ・業務運営が、非常に組織的になされている。運営体制の充実、状況に応じた組織改編等が迅速に行われ、ホームカミングデイのような成果が出ている。

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

<p>①小項目評価の集計結果では、19項目のすべてがⅢ（順調に実施している）であること。</p> <p>②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。</p>

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

特になし

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
自己収入・外 部資金の獲得	6			6	
経費の効率化	6			6	
資産の適正管 理・有効活用	7			7	
合 計	19			19	

(注) ウェイト付けした項目はない。

※小項目評価の集計結果では、19項目のすべてがⅢの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

IV 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、10項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
 ②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 情報公開や情報発信の推進
 ・社会貢献活動を随時学外Webで公開したほか、大学公式facebookを立ち上げ、定期的な情報発信を開始した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
自己点検・ 自己評価	4			4	
情報公開・ 情報発信	6 (1)			5	1 (1)
合 計	10 (1)			9	1 (1)
ウエイト考慮 後の合計	11			9	2

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、10項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

V その他業務運営に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、17項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
 ②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 施設・設備の整備・活用
 ・電子ジャーナル（CINAHL with Full Text、Cochrane Library）を導入し、大学院生に対し、ガイダンスを実施した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
施設・設備の 整備・活用	5			4	1
安全管理	8 (1)			7	1(1)
人権尊重推進	4			4	
合 計	17 (1)			15	2(1)
ウエイト考慮 後の合計	18			15	3

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、17項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし